

平成25年度 やまがた6次産業 ビジネス・スクールの ご/案/内

実践者のための能力開発プログラム
地域にイノベーションを起こす
6次産業の担い手・経営者を応援します。

やまがた第6次産業人材創生コンソーシアム・山形大学

〈コンソーシアム構成メンバー〉

フィデア総合研究所、山形大学、山形県、山形県立農業大学校
やまがた農業支援センター、山形県農業会議、山形県企業振興公社
山形県中小企業団体中央会、山形県農業法人協会、やまがた食産業クラスター協議会
山形県グリーン・ツーリズム推進協議会、日本政策金融公庫農林水産事業

<http://www.6ji.jp>

やまがた6次産業ビジネス・スクールとは

本スクールは、食農ビジネスの高付加価値を実現するために、経営感覚と起業家精神をもって6次産業化に取り組む人材・経営者（及び将来の経営者）を育成します。

多様なニーズに応じた人材の育成

- 6次産業の経営、事業展開に関する体系的な講座を提供する県内唯一の体系的支援講座です。
- 「顧客を大事にする農業ビジネス」「付加価値をつけ儲かる農業ビジネス」を展開するために、あなたの経営能力アップとビジネス計画づくりを専門講師陣が指導いたします。
- 受講することで、同じ目的を持つ仲間づくりにも役に立ちます。



県外視察研修



仙台での販売実習



グループワーク

第6次産業とは？

農産物の生産（第1次産業）、食品加工・製造（第2次産業）、流通・販売・観光（第3次産業）を組み合わせ、多角的な経営によって、高い付加価値や新たな食と農の関連ビジネスを創出していく産業です。



県内外の第一線で活躍する講師陣による指導

■ 実践的かつ高度な内容

教育科目は、基礎的なものから専門性の高いものまで、いずれも大学教育と同等の講義レベルを目指しています。また、内容については、できるだけ実践に役立つ内容になるよう工夫をしております。

■ 多彩な講師陣

座学などの講義だけでなく、外部研修を組み合わせ、各界で活躍する多彩な講師陣の指導により教育効果が最大に発揮されるようにしています。

■ ビジネス計画書の作成

受講者全員が「ビジネス計画書」を作成することにより、各自がイメージするビジネスを表現し、実践をめざした即戦力が身につきます。

スクール修了後もビジネスの実現を支援！

ビジネス・スクール修了後も、受講者の事業化に向けた企画、経営、販売・市場開拓、財務などの支援サービスを、気軽にかつ優先的に受けられるよう、継続的な支援体制を整備していきます。



「やまがた6次産業ビジネス・スクール」実施体制



※(株)フィデア総合研究所が事務局となり、県内の高等教育機関、農業関係団体、企業団体、行政機関など、県内における産・学・官の横断的、かつ綿密な連携体制によって研修事業を進めています。

教育体系とコース内容



❖ コース内容

◆ 農業ビジネス管理コース

農業をビジネス経営という視点で捉え、農業をベースに高付加価値化を目指して経営の多角化（6次産業化）や法人経営の拡大を図っていくための経営能力を開発する。

◆ 食品ビジネス管理コース

県内（地域内）農産物を原材料として、あるいは生産者と連携して付加価値商品（食品）の開発や販売をするなど、ビジネスの確立をめざす能力開発をする。

◆ 交流・観光ビジネス管理コース

農畜産業をベースに都市・農村の交流、観光を、経営の一部門として事業展開する能力、あるいは事業に関してアドバイス、コーディネートする能力の開発をする。

❖ 履修コースの選択

- 各自の進みたいコースを選択し、それに沿った履修ができるようにします。ただし、他のコース科目も、自らの6次産業化の必要に応じて履修できます。

❖ 修了証書・履修証明書の授与

- 本スクールは、90時間以上の講義を取得し、ビジネス計画書を策定すると「修了」となります。さらに、修了者が審査委員会の認定を受けると山形大学より「履修証明書」を授与します。また、平成25年度からスタートする内閣府の実践キャリアアップ戦略「食の6次産業化プロデューサー」キャリア段位制度との連動を予定しています。

❖ 開講日程（年間）

- 開講期間は平成25年7月から平成26年2月までの8ヶ月間です。
- 開講日 平成25年7月9日（火）
- 受講は原則として毎週水曜日を中心にして、月4回程度、おおむね1回につき4.5時間（11:00～12:30、13:30～16:30）の講義を実施します。その間に実習、視察研修などがあります。

❖ 受講料

- 5万円 ※教材費、宿泊研修の交通費・宿泊費等の実費に充当します。

カリキュラムの概要と学習量

- 科目は「基礎・共通科目」「選択科目」「ビジネス計画書作成」に分かれています。
 - ◆「基礎・共通科目」：第6次産業および食農ビジネスに共通する基本的な知識を学びます。
 - ◆「選 択 科 目」：各自の履修コース及び問題意識・関心に基づいて必要な知識を学びます。
 - ◆「ビジネス計画書作成」：受講生自らの夢や構想を具体的に展開するための事業プラン策定を専任教員が指導します。

	科 目	回数	時間数
基礎・共通科目	基礎・共通カリキュラム	8	52.5
	1. 6次産業の意義と役割	1	3
	2. 農山漁村の特性と新事業創出	(1)	3
	3. 組織経営と地域ネットワーク形成、ワークショップ	1	6
	4. フードシステム	(1)	3
	5. マーケティング	1	4.5
	6. 財務会計、資金計画の作り方	(2)	6
	7. 6次産業化と知財管理、農林水産業関連の支援施策	(2)	3
	8. 栽培技術最前線（稲作の栽培、農作物の保存、等）	(4)	6
	9. ケースメソッド（グループディスカッション）	2	7.5
	10. 販売力強化講座（販売実習、等）	3	10.5

	科 目	回数	時間数
選択科目（コース別）	農業ビジネス管理コース	5	15
	1. 車座談義－先進農業法人は今－	1	3
	2. 農業経営管理、経営戦略－基礎編	1	3
	3. 農業の経営戦略－実践編－	1	3
	4. 融合型6次産業化事例【視察】	1	3
	5. 連携型6次産業化事例【視察】	1	3
	食品ビジネス管理コース	5	15
	1. 食品市場の創造	1	3
	2. 加工食品の流通販売、衛生管理	1	3
	3. 食品の味と機能	1	3
	4. 食品加工と衛生管理実践【視察】	1	3
	5. 食品加工【実習】	1	3
	交流・観光ビジネス	5	15
	1. 交流観光ビジネス、地域資源利用論	1	3
	2. フードコーディネイト論	1	3
	3. IT活用による販売戦略	1	3
	4. ホスピタリティ・マネジメントの実際【視察】	1	3
	5. 貿易と輸出ビジネス	1	3

	科 目	回数	時間数
共通科目	ビジネス計画書作成	7	22.5
	戦略構想、ビジネス計画書作成	7	22.5

(総合計) 30 120

※回数の（ ）表示は、他講座と同日開催予定の講座

- 講義の一部には視察・宿泊研修も含まれます。
- カリキュラムの構成は講師の都合などにより変更になる場合があります。
- ※講義の詳しい日程、内容等については「やまがた6次産業」ホームページ(<http://www.6ji.jp>)にてご確認ください。

受講生の募集について

1. 募集定員 30名程度

コース別募集定員		
農業ビジネス 管理コース	食品ビジネス 管理コース	交流・観光ビジネス 管理コース
10名程度	10名程度	10名程度

2. 応募資格

次のいずれかに該当する方

- ①農業を基軸に、6次産業ビジネスを起こす考えをもっている方
 - ②商工業、建設業等で6次産業ビジネスに進出する考えを持っている方
 - ③市町村、団体等の職員で6次産業に関する指導者やコーディネーターをめざす方
- ※原則として、パソコン、インターネット利用可能な方とします。

(応募が定員を上回る場合は、選考委員会において選考し、後日ご連絡いたします。)

3. 出願期間、出願先

- 出願期間 平成25年6月5日(水)から平成25年6月26日(水)(当日必着)まで
- 出願先 〒990-2473 山形市松栄1-3-8 山形県産業創造支援センター内
株式会社フィデア総合研究所 6次産業推進事務局 宛

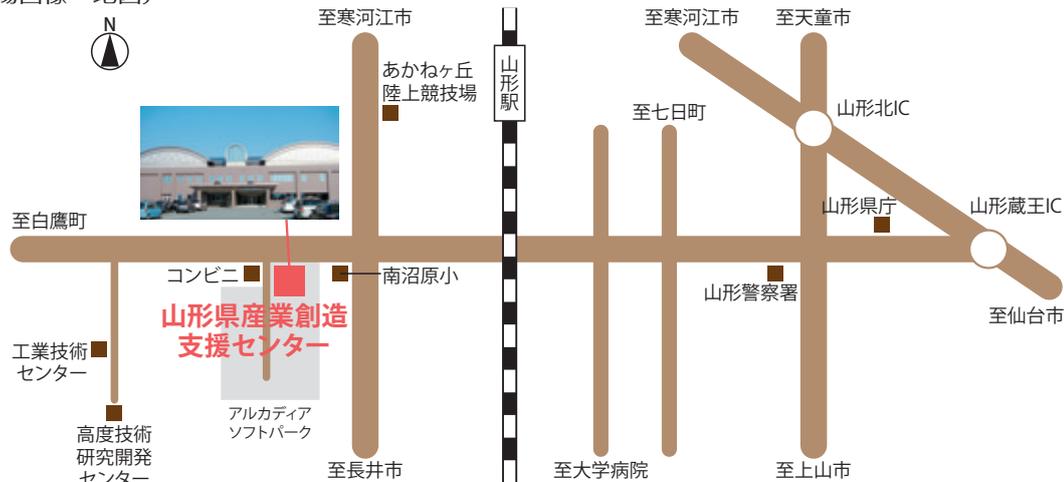
右頁が入学申込書になります。切り取って両面記入し、送付して下さい。

4. 開講場所

- 講義は、山形県産業創造支援センターを中心に開講します。
- 実習等の内容やスケジュールの都合等により、開催場所が変更になる場合があります。

山形県産業創造支援センターへのアクセス

(会場画像・地図)



5. お問い合わせと資料請求先

〒990-2473 山形県山形市松栄1-3-8 山形県産業創造支援センター内
株式会社フィデア総合研究所 6次産業推進事務局 (担当: 村山、佐藤)
TEL. 023-674-0943 FAX. 023-674-0944 E-mail. info@6ji.jp
ホームページ. <http://www.6ji.jp/>

やまがた6次産業ビジネス・スクール入学申込書

氏名	ふりがな	性別		写真添付 のこと
		男・女		
生年月日 (年齢)	年 月 日 (歳)			
住所 (連絡先)	〒 —			
	電話	— —	FAX	— —
	(携帯)	— —		
	E-mail			

※下欄の該当箇所(数字)に○をつけてください

最終学歴	1. 高校卒 2. 短大・大学卒 3. その他 ()	
職 業	1. 農業(認定農業者の有無→ 有 ・ 無) (法人化の有無→ 法人 ・ 個人)	
	2. 建設業	3. 製造業(食品加工関係)
	4. 製造業(食品加工関係以外)	5. 卸売・小売業
	6. 観光業(宿泊・飲食関係など)	7. 行政・団体
	8. その他 ()	
	・ 個人事業主の場合【事業所名: 】	
・ 法人の場合【会社名: 】		
□会社役員 □従業員		
希 望 コース	1. 農業ビジネス管理コース	2. 食品ビジネス管理コース
	3. 交流・観光ビジネス管理コース	※選択コースにかかわらず、他のコース科目も必要に応じて履修できます。

・これからの事業展開、計画(受講審査のため、**裏面に必ずご記入下さい。**)
当スクールでは、**具体的に新しい事業に踏み出したいという方の支援**を念頭においた教育プログラムを実施します。今あなたが具体的に事業として進めたいと考えている、あるいは計画していることについて、その狙いも含めてできるだけ詳しく記入して下さい。

